

# 危機管理室

四日市市地域防災計画の見直し……………	Ⅲ－ 1
危機管理 ……………	Ⅲ－ 1
防災訓練の運用 ……………	Ⅲ－ 1
防災無線の整備 ……………	Ⅲ－ 1
総合防災システム・四日市市安全安心防災メールの整備……	Ⅲ－ 2
防災倉庫および備蓄物品の整備・充実 ……………	Ⅲ－ 2
住宅等の耐震化促進 ……………	Ⅲ－ 6
市民に対する防災意識啓発と自主防災組織の強化・充実……	Ⅲ－ 6

## 四日市市地域防災計画の見直し

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）は、従来の想定をはるかに超える大きな揺れとその後発生した大津波により、未曾有の被害をもたらした。三陸沿岸で多くの人命が失われた。また、南海トラフを震源とした巨大地震の発生が危惧されるなか、国は防災基本計画の改訂や被害想定及び防災対策の発表を行い、三重県についても平成 26 年 3 月に県独自の被害想定を発表を行った。

これらを踏まえ、本市では、これまでの四日市市地域防災計画を大幅に見直すとともに、各部局における災害時の対応マニュアルについても策定するよう努めている。

## 危機管理

自然災害を含むあらゆる危機から尊い市民の命や財産を守ることは、市政・まちづくりの最も基本的な事項である。このため、地震や風水害などの自然災害をはじめとしたあらゆる災害に強いまちづくりを目指すとともに、さまざまな危機に対して迅速で効率的に行動ができるよう、関係部局及び防災関係機関とも協力しながら、防災対策の多様化と危機管理体制のさらなる強化を図るための種々の事業を実施している。

## 防災訓練の実施

毎年、地区を特定して、市民をはじめとする防災関係機関や事業所等の参加・連携のもと、本市が大規模地震に見舞われたことを想定とした情報収集、災害防御、救出救護、応急復旧など、現実に対応した「市民総ぐるみ総合防災訓練」を実施している。また、各地区においても消防団、自主防災組織、自治会等の住民組織が主体となり、それぞれの地区の実情に応じた訓練が実施されるよう、指導・助言に努めている。

## 防災無線の運用

災害時に市民に情報伝達を行うための防災行政無線（固定系）を運用しているほか、災害対応のための情報伝達手段として、一般財団法人移動無線センターが管理運営を行っているマルチチャンネルアクセスシステム（MCA）を利用した防災用 MCA 無線を市役所（災害対策本部）をはじめ各地区市民センター及び指定避難所など、主要な災害拠点施設に配備している。

種 別	設置数
防災行政無線（固定系）	1 1 8
防災用 MCA 無線	2 7 7

### 【防災用MCA無線】



## 総合防災システム・四日市市安全安心防災メールの整備

平成12年9月、本市は局地的な記録的集中豪雨に見舞われた。このことを踏まえ、平成13年度に、市内周辺20カ所の雨量情報、20カ所の水位情報および四日市港における潮位情報をリアルタイムに掌握できる総合防災システムの構築を行った。これらの情報を広く市民に提供して被害の最小化を図るため、平成14年12月から市のホームページ上でも情報を公開している。公開用ページについては四日市市に特化した気象情報等を雨量・水位情報と合わせて掲載し、より市民が情報を得やすいページとするため、平成26年4月から「四日市市防災気象情報」に移行した。

また、本市における気象情報や避難所情報を素早く伝達し、避難行動の判断材料として活用してもらうという目的から「四日市市安全安心防災メール」を整備し、登録者にこれらの情報を無料で配信している。

【公開用トップページ】



【水防情報(雨量、河川水位など)】



【四日市市安全安心防災メール】



## 防災倉庫および備蓄品の整備・充実

各指定避難所に防災倉庫を併設するほか、3カ所に防災備蓄倉庫を設置し、食料（クラッカー、アルファ米）や毛布、仮設トイレ、担架のほか、ノコギリ、ツルハシ、ハンマー、ボール等の救出救助用資機材の備蓄に努めている。同様に、水防倉庫についても整備・充実努めている。（平成28年4月時点防災倉庫は125カ所、水防倉庫は54カ所）



防災備蓄倉庫（安島）



水防倉庫（内堀:内部川）

防災倉庫・防災備蓄倉庫設置一覧表

(平成28年4月1日現在)

<番号>	<地区>	<設置箇所>	<番号>	<地区>	<設置箇所>
1	富洲原	富洲原地区市民センター	35	共同	中部中学校
2		富洲原中学校	36		中部地区市民センター
3		富洲原小学校	37		総合会館
4	富田	防災教育センター	38	中央	本町プラザ
5		富田中学校	39		中央小学校
6		富田小学校	40	浜田	文化会館
7		富田地区市民センター	41		浜田小学校
8		県立四日市高校	42		浜田公園
9		県立北星高校	43		港中学校
10	羽津	羽津小学校	44	小山田	じばさん三重
11		羽津北小学校	45		小山田小学校
12		羽津中学校	46		西陵中学校
13		羽津地区市民センター	47		小山田地区市民センター
14	八郷	八郷小学校	48	川島	川島小学校
15		朝明中学校	49		川島地区市民センター
16		あかつき台中電用地	50	神前	神前小学校
17		八郷地区市民センター	51		三滝中学校
18		私立暁高校	52		神前地区市民センター
19		私立暁中学校	53		県立四日市商業高校
20	大矢知	大矢知興譲小学校	54	桜	県立四日市中央工業高校
21		大矢知地区市民センター	55		桜小学校
22		あさけプラザ	56		桜台小学校
23		私立暁小学校	57		桜中学校
24	海蔵	海蔵小学校	58	三重	桜地区市民センター
25		山手中学校	59		県立四日市西高校
26		海蔵地区市民センター	60		三重小学校
27	橋北	旧東橋北小学校跡地	61	三重	三重西小学校
28		橋北小学校	62		三重北小学校
29		滝川集会所	63		大谷台小学校
30		橋北中学校	64		三重平中学校
31		橋北地区市民センター	65		三重地区市民センター
32	港	なやプラザ	66	県	県小学校
33		納屋防災緑地	67		大池中学校
34	共同	中部西小学校	68		

<番号>	<地区>	<設置箇所>	<番号>	<地区>	<設置箇所>	
69	県	県立北勢きらら学園	103	内部	内部東小学校	
70	下野	下野小学校	104		内部中学校	
71		西朝明中学校	105		内部地区市民センター	
72		下野地区市民センター	106	塩浜	塩浜地区市民センター	
73	水沢	水沢小学校	107		塩浜小学校	
74		水沢地区市民センター	108		塩浜中学校	
75	保々	保々小学校	109		中里緑地	
76		保々中学校	110		三浜文化会館	
77		保々地区市民センター	111		磯津町グラウンド	
78		県立朝明高校	112		三重北勢健康増進C	
79	常磐	常磐小学校	113	河原田	河原田小学校	
80		常磐西小学校	114		河原田地区市民センター	
81		常磐中学校	115		県立四日市農芸高校	
82		常磐地区市民センター	116		北勢公設地方卸売市場	
83		市立図書館	117		楠	楠地区市民センター
84	日永	日永地区市民センター	118	北楠分団消防倉庫		
85		泊山小学校	119	楠小学校		
86		南中学校	120	楠中学校		
87		日永小学校	121	楠福祉会館		
88		中央緑地第1体育館	122	楠避難会館		
89		県立四日市南高校	123	楠交流会館		
90		県立四日市工業高校	124	楠防災会館		
91		私立海星高校	125	楠保健福祉センター(ゆりかもめ)		
92		四郷	四郷小学校	<防災倉庫125カ所>		
93			笹川東公園	<番号>	<設置箇所>	
94	高花平小学校		126	垂坂公園防災備蓄倉庫		
95	笹川西小学校		127	安島防災備蓄倉庫		
96	笹川中学校		128	南部丘陵公園防災備蓄倉庫		
97	小林町グラウンド		<防災備蓄倉庫3カ所>			
98	西笹川中学校					
99	四郷地区市民センター					
100	内部	県立四日市四郷高校				
101		四日市市障害者体育センター				
102		内部小学校				

番 号	河 川 名	管 理 者	倉 庫 名	所 在 地	面 積 m <sup>2</sup>	番 号	河 川 名	管 理 者	倉 庫 名	所 在 地	面 積 m <sup>2</sup>
1	朝明川	市	※ 松寺	松寺二丁目	15.0	28	川島	市	川島	川島町	13.4

2	〃	市	※大矢知	大矢知町	15.0	29	天白川	市	天白	日永二丁目	9.12
3	〃	市	※平津町	平津町	15.0	30	〃	市	※日永	日永二丁目	15.0
4	〃	市	※保々	西村町	15.0	31	〃	市	※日永西	日永西二丁目	15.0
5	山城谷川	市	※山城	山城町	15.0	32	〃	市	※大瀬古新町	日永西一丁目	15.0
6	十四川	市	十四川	富田四丁目	13.4	33	高花川	市	※高花平	高花平二丁目	15.0
7	米洗川	市	※八田	八田三丁目	15.0	34	鉄砲川	市	※鉄砲川	日永西五丁目	15.0
8	海蔵川	市	※末永本郷	本郷町	15.0	35	猿法師川	市	※泊	大字泊村	15.0
9	〃	県	御館	西坂部町	90.7	36	鈴鹿川	市	※磯津	大字塩浜	15.0
10	〃	市	※三ツ谷	万古町	15.0	37	〃	市	※吉崎	楠町	15.0
11	〃	市	※上海老	上海老町	15.0	38	〃	市	※丑之新田	〃	15.0
12	〃	市	※万古	万古町	15.0	39	〃	市	※南五味塚	〃	15.0
13	部田川	市	※小杉	小杉町	15.0	40	〃	市	※北五味塚	〃	15.0
14	竹谷川	市	※県	赤水町	15.0	41	〃	市	※小倉	〃	15.0
15	三滝川	市	※明治橋	末永町	15.0	42	〃	市	※北一色	〃	15.0
16	〃	市	※堀木	久保田二丁目	15.0	43	〃	市	南川	〃	9.9
17	〃	市	※大井手	大井手三丁目	15.0	44	〃	市	※本郷	〃	30.0
18	〃	市	※事業所	生桑町	15.0	45	〃	国	鈴鹿出張所	河原田町	9.12
19	〃	市	※高角	高角町	15.0	46	内部川	市	※内堀	河原田町	15.0
20	〃	市	※八幡町	八幡町	15.0	47	〃	市	※采女	采女町	15.0
21	金溪川	市	※桜	智積町	15.0	48	〃	市	※貝家	采女町	15.0
22	矢合川	市	※桜西	桜町	15.0	49	〃	市	六名	六名町	17.9
23	〃	市	※桜中央	桜町	15.0	50	〃	市	※堂ヶ山	堂ヶ山町	15.0
24	鹿化川	市	※浜田	寿町	15.0	51	〃	市	※宮妻	水沢町宮妻	15.0
25	〃	市	※大瀬古	日永一丁目	15.0	52	鎌谷川	市	※北小松	北小松町	15.0
26	〃	市	※赤堀	赤堀南町	15.0	53	足見川	市	※小山	小山町	15.0
27	〃	市	※石塚	石塚町	15.0	54	内部川	市	※南小松	南小松町	15.0

### 水防倉庫設置一覧表

(平成28年4月1日現在)

※ 可搬式コンテナ

計54カ所(うち47カ所は可搬式コンテナ)

#### 水防倉庫資材等基本備蓄数(市管理分)

品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
土嚢袋	5,000袋	なわ	15巻	くい	500本	鉄線	3巻
スコップ	15丁	かげや	10丁	クリッパー	1丁	つるはし	2丁
おの	2丁	のこぎり	2丁	かま	2丁	なた	2丁
片手ハンマー	2丁	ペンチ	2丁	ビニールシート	5張	一輪車	2車
トラロープ	2巻	たこ	1丁	ハイパーリフト	2本	ライフジャケット	10着

## 住宅等の耐震化促進

地震に対する住宅の安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを進めるため、平成 15 年度より建築年等、一定の基準を満たす木造住宅を対象に無料耐震診断を実施するとともに平成 19 年度から共同住宅耐震診断への補助制度も開始した。（平成 28 年 4 月時点で 8,106 戸実施済）

また、無料耐震診断受診後に耐震補強計画（設計）、補強工事、除却を行う場合、その費用の一部補助を行っている。（平成 28 年 4 月時点での補助金交付総件数は木造住宅耐震補強計画 681 件、木造住宅耐震補強工事 591 件、除却 696 件）

### 木造住宅の耐震化補助事業の進捗状況

	耐震診断	耐震補強計画	耐震補強工事	除 却	備 考
平成 1 5 年度	766	—	—	—	旧楠町分含む
平成 1 6 年度	780	—	8	—	旧楠町分含む
平成 1 7 年度	560	—	39	—	
平成 1 8 年度	290	73	57	11	
平成 1 9 年度	403	66	46	13	
平成 2 0 年度	214	63	41	5	
平成 2 1 年度	470	51	40	29	
平成 2 2 年度	780	60	39	58	
平成 2 3 年度	1,904	96	56	82	
平成 2 4 年度	1,048	167	154	109	
平成 2 5 年度	301	67	79	164	
平成 2 6 年度	319	23	20	153	
平成 2 7 年度	271	15	12	72	
合 計	8,106	681	591	696	

## 市民に対する防災意識啓発と自主防災組織の強化・充実

災害対策の基本として、「自分の身は自分で守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の意識を市民に持ってもらうことが大切である。このことから、自治会や自主防災隊等の各種団体や施設、事業所等を対象とした防災出前講座や防災士養成のための「四日市市防災大学」「四日市市防災大学ステップアップ講座」のほか、女性の視点で防災・減災活動に取り組む人材を育成する「四日市市防災・減災女性セミナー」や家族単位から防災について考える「四日市市ファミリー防災講座」を実施している。

そのほか「エフエムよっかいち（76.8MHz）」の「なるほど！防災」やCTY（10ch）のほか「広報よっかいち」を積極的に活用し、市民の防災意識の高揚に努めている。

地震等の災害に対する安全体制の確立に期するため、市内の関係機関や市内の地区防災組織（29 組織）がネットワーク化を図り、日頃よりの自主的な防災活動を推進し、地域防災力の強化を図ることを目的として、平成 24 年 3 月、四日市市地区防災組織連絡協議会を発足した。同協議会では、各地区における防災への取組みを紹介する「つながる防災隊」を発行し各地区に配布するなど、地区間の連絡体制を強化している。